

セミナー内容サンプル

合同会社 村田制作所

自己紹介



合同会社村田制作所
代表 村田 裕樹

1975年、熊本県生まれ。
立命館大学卒業後、パナソニック情報システム株式会社を経て、
Webサービスの立ち上げや事業企画を手掛け、4年で事業を2億円を9億円まで拡大。
海外向け11カ国語の受注システム開発などを担当後、
2019年1月に再び、パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
（現 パナソニック コネクト株式会社）入社。大規模システム開発を担当後、
これまでに得たノウハウを体系化し、炎上プロジェクトで疲弊する人を減らしたい
と考え、同社を退職し、2025年3月にITコンサル会社の村田制作所を設立。

習慣化していること

- ・週3回のジム、週1回のヨガ
- ・noteの記事執筆 毎日！ https://note.com/murata_ssj

特に興味があること

- ・生成AIの活用方法
- ・コンテンツビジネス
- ・5歳と2歳の子供たち

アジェンダ

- ① イントロダクション 「生成AIを使った資料作成」
- ② 全体概要 「システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド」
- ③ 詳細内容 「状況把握・分析」
- ④ 質疑応答

①イントロダクション
「生成AIを使った資料作成」

**「システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド」
は、ほぼ生成AIで作りました。**

エンタメ Ver.



システム開発の 炎上プロジェクト火消しガイド

大規模なシステム開発のプロジェクトでは、期限や予算の超過が多々発生します。
このガイドではプロジェクトを予定通りに進行し、納期遵守を目指します。

はじめに

プロジェクトの課題

大規模なシステム開発プロジェクトでは、期限や予算の超過が多々発生します。

また、多くの場合、チームのコミュニケーション不足や要件変更による混乱が生じています。

目指す状態

- プロジェクトを予定通りに進行し、納期内に成果物を提供すること。
- チーム内の協力と情報共有が促進されること。
- 立ち止まらず、常に前進していること。



アクションプラン：火消し作戦開始

1

状況把握

少人数で遅延理由を分析します。

2

ルールの再定義

極限までシンプルで守れるルールにします。

3

優先順位の明確化

捨てるものは捨て、最優先のものに絞り込みます。

4

改善実行・士気向上

短期的な目標を設定し、達成させることで士気を高めます。

成功指標

進捗管理

リスケ後のスケジュールを遵守します。

予算管理

費用対効果を確認します。

コストに見合わなければ見直しします。



リスク管理

Risk Assessment Matrix

RISK	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
1. Critical Resource Shortage	High	High	High	High	High	High	High	High
2. Schedule Delay	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
3. Budget Overrun	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
4. Quality Control Issues	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
5. Client Communication Breakdown	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
6. Regulatory Compliance Failure	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
7. Data Security Breach	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
8. Intellectual Property Infringement	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
9. Environmental Impact	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low
10. Reputation Damage	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low	Low

遅延リスク

スケジュール通りに進行しない可能性を洗い出します。

リソース不足リスク

人員や技術的なリソースの不足をチェックします。



リスク対応策

代替プランの策定

リスク発生時のバックアッププランを準備します。

チームの強化

必要に応じて外部から専門家を招聘し、知識を補完します。

継続的改善：フィードバックの活用

炎上プロジェクトの大半は、忙しいことを理由にフィードバックを後回しにしがちです。何ができて、何ができておらず、今後どうしたいのかが明確にならないまま続けてもレベルアップしません。KPTなどのフレームワークを使って、区切りごとの振り返り（フィードバック）が重要です。

継続すること：Keep

よかったこと、上手くいった継続したいことを箇条書き

改善すること：Problem

できなかったこと、改善したいことを箇条書き

挑戦すること：Try

継続・改善することを踏まえて挑戦したいことを箇条書き

定期的を実施することにより、「1年間で何ができるようになったか」、「コスパが良い取り組みはどれか」などが明確になり、成長も実感できるため、継続的成長が促進されます。



成功への道: 炎上プロジェクト克服

炎上プロジェクトを克服し、成功に導くことは容易ではありません。しかし、最優先事項を絞り込み、一つ一つを着実に実施して前に進めることにより、道は開けます。このガイドを参考にプロジェクトを立て直し、成功へと導きましょう。

外資系コンサル Ver.



システム開発の 炎上プロジェクト火消しガイド

大規模なシステム開発のプロジェクトでは、期限や予算の超過が多々発生します。このガイドではプロジェクトを予定通りに進行し、納期遵守を目指します。

はじめに

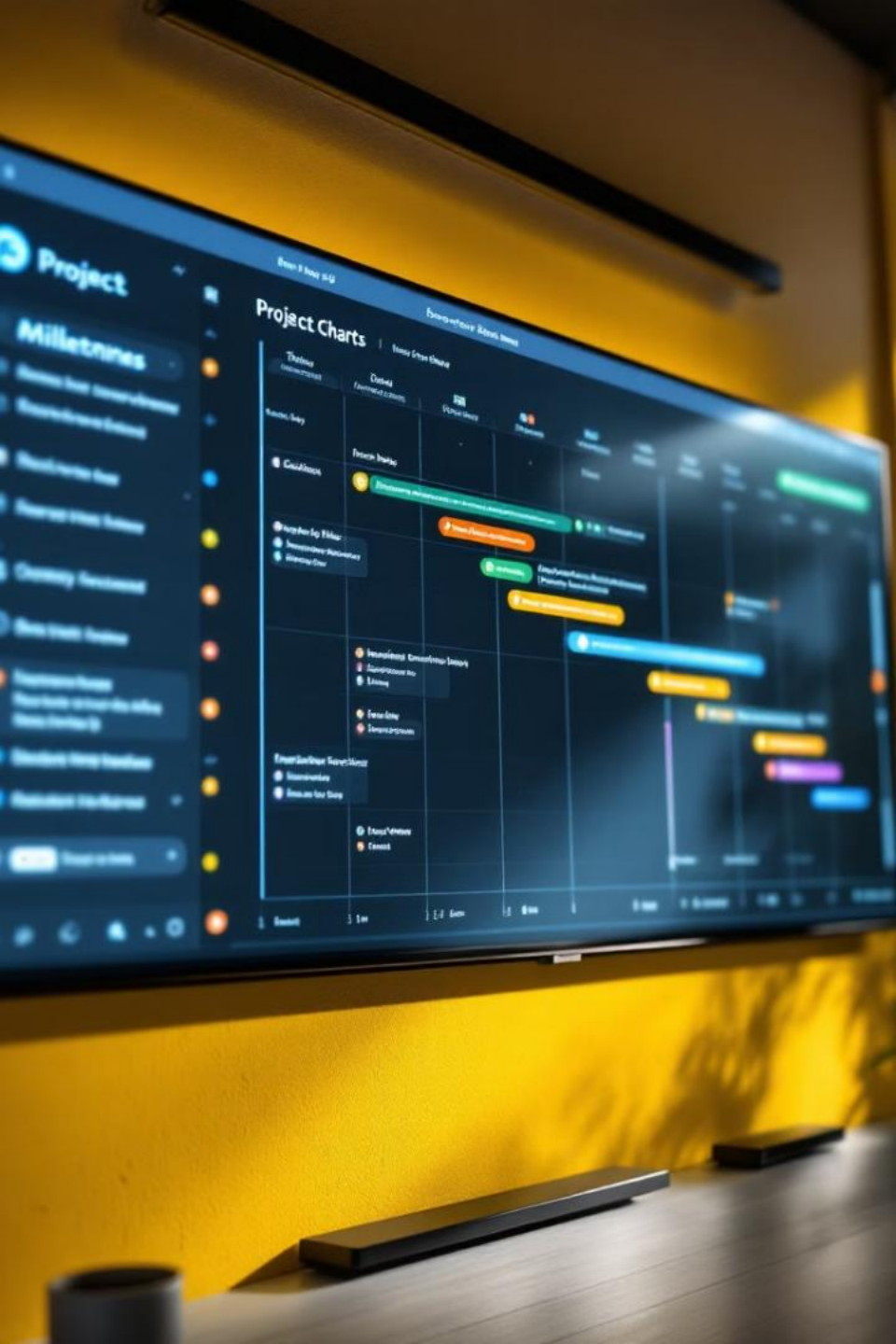
プロジェクトの課題

大規模なシステム開発プロジェクトでは、期限や予算の超過が多々発生します。

また、多くの場合、チームのコミュニケーション不足や要件変更による混乱が生じています。

目指す状態

- プロジェクトを予定通りに進行し、納期内に成果物を提供すること。
- チーム内の協力と情報共有が促進されること。
- 立ち止まらず、常に前進していること。



アクションプラン:改善ステップ

1— 状況把握・分析

少人数で遅延理由を分析します。

2— ルールの再定義

極限までシンプルで守れるルールにします。

3— 優先順位の明確化

捨てるものは捨て、最優先のものに絞り込みます。

4— 改善実行・士気向上

短期的な目標を設定し、達成させることで士気を高めます。

成功指標

進捗管理

リスケ後のスケジュールを遵守します。

予算管理

費用対効果を確認します。

コストに見合わなければ見直しします。





リスク管理

遅延リスク

スケジュール通りに進行しない可能性を洗い出します。

リソース不足リスク

人員や技術的なリソースの不足をチェックします。



リスク対応策

代替プランの策定

リスク発生時のバックアッププランを準備します。

チームの強化

必要に応じて外部から専門家を招聘し、知識を補完します。

継続的改善：フィードバックの活用

炎上プロジェクトの大半は、忙しいことを理由にフィードバックを後回しにしがちです。何ができて、何ができておらず、今後どうしたいのかが明確にならないまま続けてもレベルアップしません。KPTなどのフレームワークを使って、区切りごとの振り返り（フィードバック）が重要です。

継続すること:Keep

よかったこと、上手くいった継続したいことを箇条書き

改善すること:Problem

できなかったこと、改善したいことを箇条書き

挑戦すること:Try

継続・改善することを踏まえて挑戦したいことを箇条書き

定期的を実施することにより、「1年間で何ができるようになったか」、「コスパが良い取り組みはどれか」などが明確になり、成長も実感できるため、継続的成長が促進されます。



成功への道: 炎上プロジェクト克服

炎上プロジェクトを克服し、成功に導くことは容易ではありません。しかし、最優先事項を絞り込み、一つ一つを着実に実施して前に進めることにより、道は開けます。このガイドを参考にプロジェクトを立て直し、成功へと導きましょう。

「システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド」
の作成時間は、**2～3時間**。

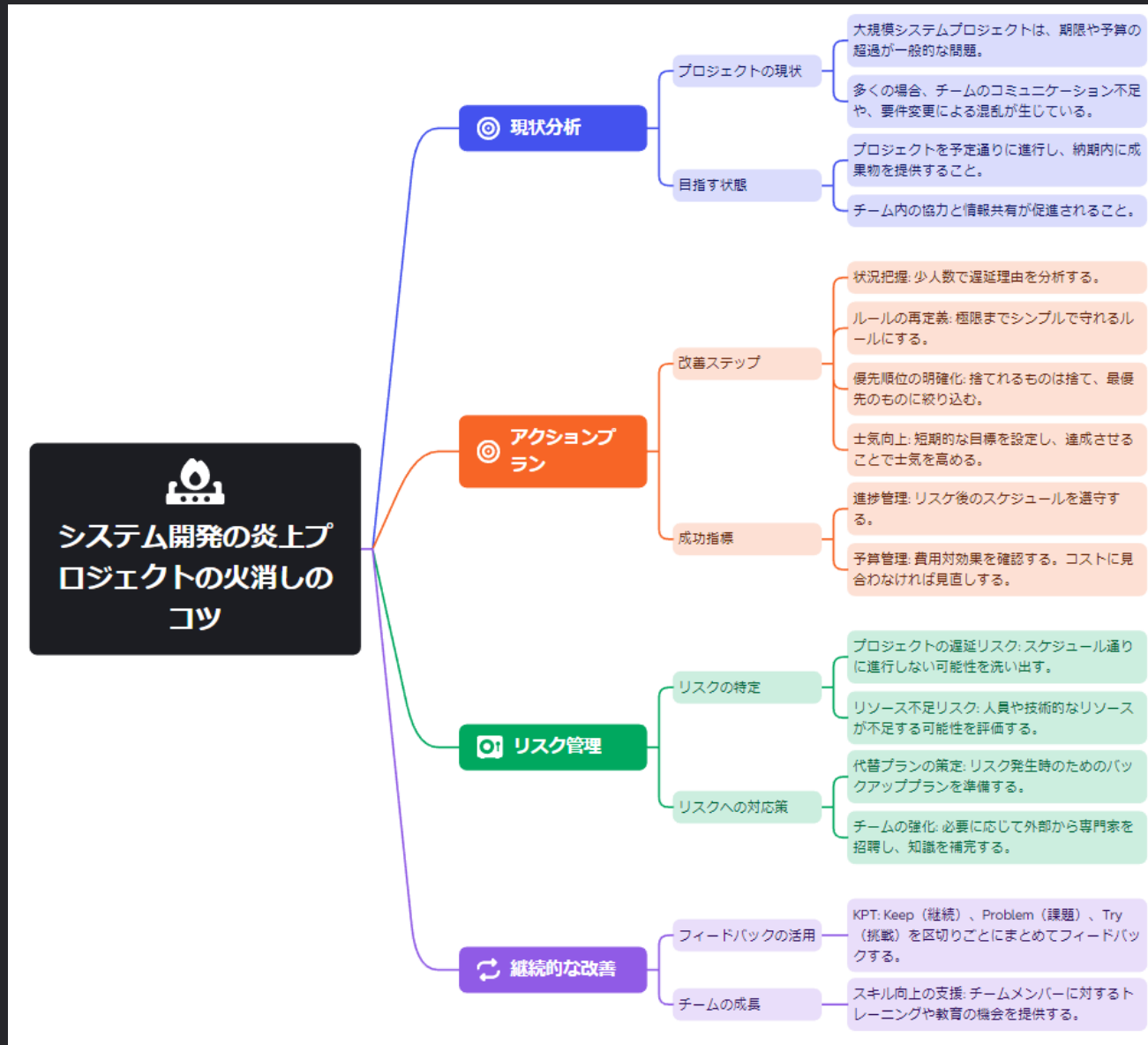
生成AIの活用で

圧倒的に業務時間を**短縮**可能

手順

- ① Mapifyで、資料の章立てのためのロジックツリーを作成
- ② 見直し後、ロジックツリーをMarkdown形式に変換
- ③ テキストデータをGammaにコピーし、設定とデザインテンプレートを指定して出力
- ④ 出力されたPowerPointを開き、適宜修正。

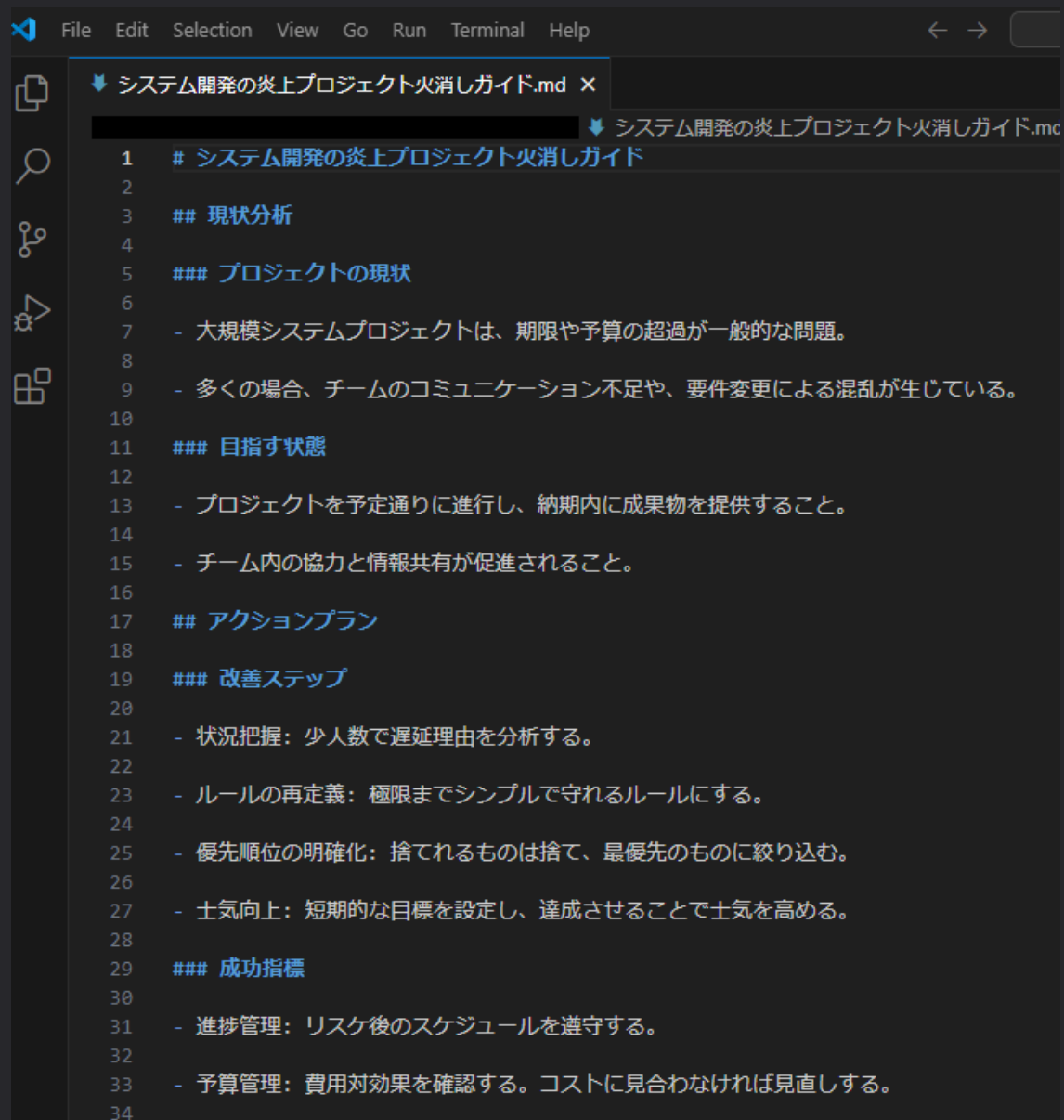
①Mapifyで、資料の章立てのためのロジックツリーを作成



ロジックツリーを作る理由

- いきなりPowerPointに書き始めると修正の手戻りが多い
- ロジックツリーだと全体俯瞰がしやすく、抜け漏れやバランスを考慮しやすい

②見直し後、ロジックツリーをMarkdown形式に変換



```
File Edit Selection View Go Run Terminal Help
システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド.md ×
システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド.md
1 # システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド
2
3 ## 現状分析
4
5 ### プロジェクトの現状
6
7 - 大規模システムプロジェクトは、期限や予算の超過が一般的な問題。
8
9 - 多くの場合、チームのコミュニケーション不足や、要件変更による混乱が生じている。
10
11 ### 目指す状態
12
13 - プロジェクトを予定通りに進行し、納期内に成果物を提供すること。
14
15 - チーム内の協力と情報共有が促進されること。
16
17 ## アクションプラン
18
19 ### 改善ステップ
20
21 - 状況把握: 少人数で遅延理由を分析する。
22
23 - ルールの再定義: 極限までシンプルで守れるルールにする。
24
25 - 優先順位の明確化: 捨てれるものは捨て、最優先のものに絞る。
26
27 - 士気向上: 短期的な目標を設定し、達成させることで士気を高める。
28
29 ### 成功指標
30
31 - 進捗管理: リスク後のスケジュールを遵守する。
32
33 - 予算管理: 費用対効果を確認する。コストに見合わなければ見直しする。
34
```

Markdownにする理由

- 生成AIが章立てを理解して生成してくれるため
- 様々なフォーマットに出力しやすいため
例) プレゼン資料とブログなど
- 文字校正しやすい

③テキストデータをGammaにコピーし、設定とデザインテンプレートを指定して出力

The screenshot shows the Gamma AI interface with a prompt editor. The left sidebar contains settings for text content, images, and format. The main area displays a generated report titled 'システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド' (System Development Firefighting Guide for a Project in Crisis).

設定 ①

- テキストコンテンツ
 - 生成 要約 保存
 - 注: 私たちは常にあなたのコンテンツを保持するために最善を尽くしますが、完全に一致することを保証するものではありません。 ①
 - 出力言語: 日本語 (です/ます体)
 - 画像
 - 画像ソース: AI画像
 - AI image model: Flux Fast 1.1
 - フォーマット: プレゼンテーション・デフォルト

コンテンツ ①

自由形式 カードごと

システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド

現状分析

プロジェクトの現状

- 大規模システムプロジェクトは、期限や予算の超過が一般的な問題。
- 多くの場合、チームのコミュニケーション不足や、要件変更による混乱が生じている。

目指す状態

- プロジェクトを予定通りに進行し、納期内に成果物を提供すること。
- チーム内の協力と情報共有が促進されること。

アクションプラン

改善ステップ

- 状況把握: 少人数で遅延理由を分析する。
- ルールの再定義: 極限までシンプルで守れるルールにする。
- 優先順位の明確化: 捨てられるものは捨て、最優先のものに絞る。
- 士気向上: 短期的な目標を設定し、達成させることで士気を高める。

成功指標

- 進捗管理: リスケ後のスケジュールを遵守する。
- 予算管理: 費用対効果を確認する。コストに見合わなければ見直しする。

リスク管理

リスクの特定

240クレジット ①

8 カード

続ける 40 ① →

Gamma利点

- 自動スライド作成
入力したテキストやキーワードから自動的にスライドを作成。
- 多様なテンプレートとデザインオプション
目的に応じて最適なスタイルを選択可能。
これにより視覚的に魅力的な資料に！

④出力されたPowerPointを開き、適宜修正。

最後は「人」の力

- 生成AIが出力した文章は正しいとは限らない
⇒ 文章を全て見直して修正する
- 生成AIが出力した画像が適切とは限らない
⇒ 画像を全て見直して差し替える
- 生成AIが出力した文章は平均的な文章になるため熱量が伝わらない
⇒ 「自分の言葉」で書き直す

なぜ最初に生成AIの話をしたか？

生成AIは**革命的な進化**を遂げている

そして、生成AIスキルのニーズは非常に高い

参考：[年収を1.5倍にするスキルは生成AIスキル\(Forbesの記事の感想\)](#)

「生成AIは、情報漏洩のリスクがあるため使いにくい」

「通常の業務が忙しく、生成AIを勉強する暇がない」

などで利用が進まないと



時代に取り残されるリスク

ITリテラシー



AIリテラシー

キャリアは**複利**が効いてくる

新しいことを覚える・できるようになる

⇒ 仕事の幅が広がる

⇒ いつもと違う仕事のチャンス

⇒ 実績が増える

⇒ さらに新しいチャンス

「チャンスを**待**っている人」
と
「チャンスを**呼**び込める人」
の違いは

日々の行動の違い

会社から言われて勉強するのではなく、
自分のキャリアの幅を広げるために勉強する。



だから、制約があっても忙しくても勉強する。

**この説明で
最初に生成AIの話した理由が
納得いただけただけでしょうか？**

実は、

「**納得しているか？**」が重要。

私の言葉だと「**腹落ちしているか？**」

に、つなげなかったためです。

炎上中のプロジェクトでやろうとしていることに
「納得しているか？」

炎上プロジェクトでは納得していないことが多い



**やらされ仕事で、質が悪い
そこに自律性は生まれない**

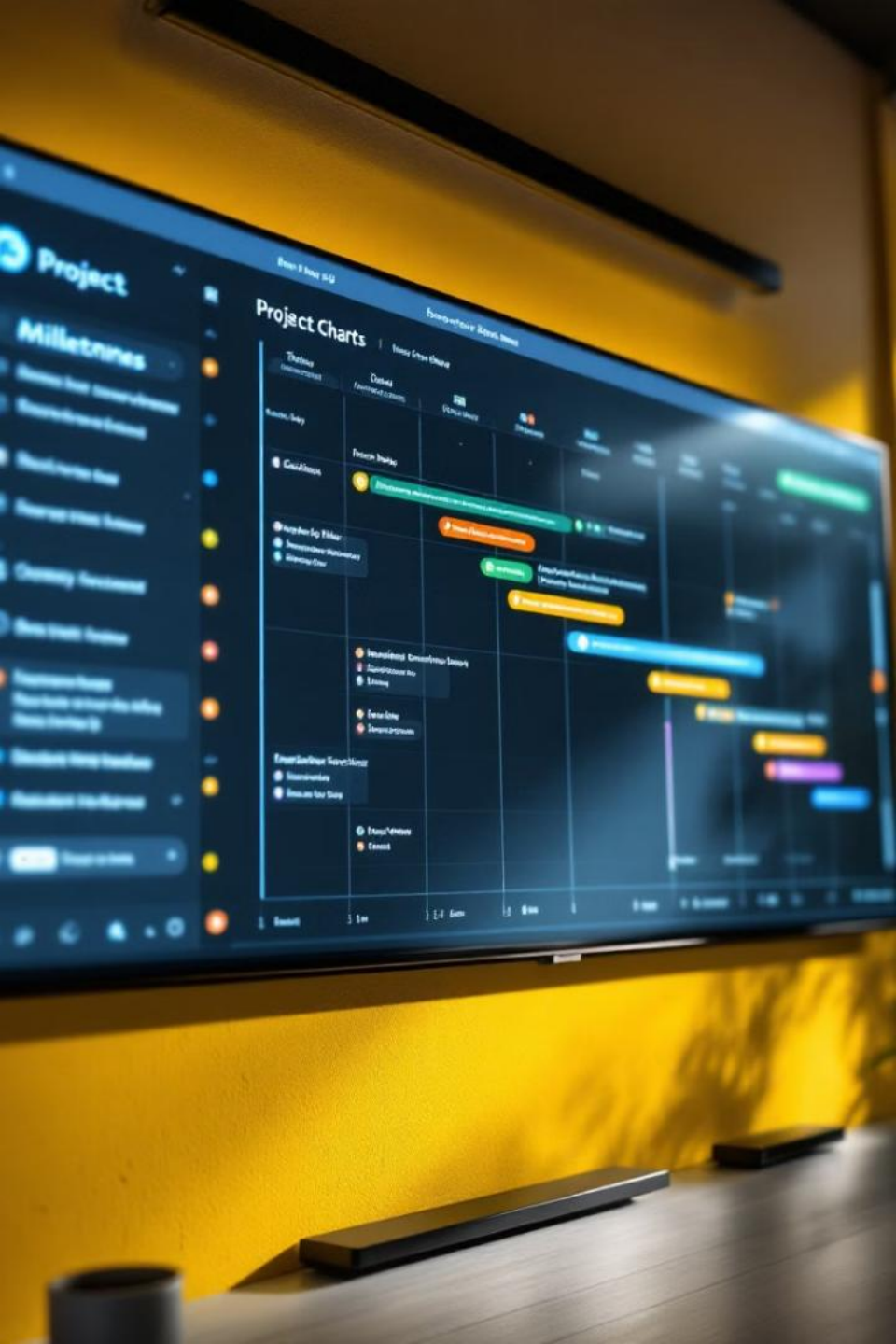
動きが悪い ≡ 納得していない、わかってない

（全員、納得させるのは難しいが、）
主要メンバーが納得できる説明は必要。

②全体概要

「システム開発の炎上プロジェクト火消しガイド」

③詳細内容
「状況把握・分析」



アクションプラン：改善ステップ

1— 状況把握・分析

少人数で遅延理由を分析します。

2— ルールの再定義

極限までシンプルで守れるルールにします。

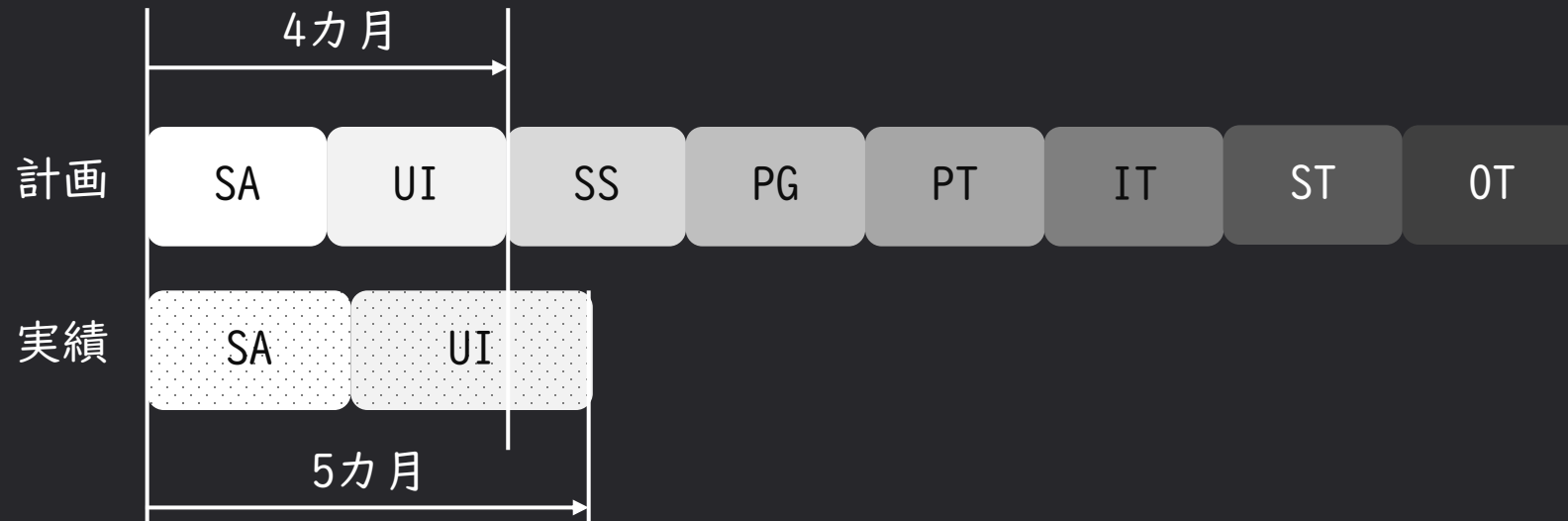
3— 優先順位の明確化

捨てるものは捨て、最優先のものに絞り込みます。

4— 改善実行・士気向上

短期的な目標を設定し、達成させることで士気を高めます。

例) 各工程が2カ月ずつで、UI (基本設計) が1カ月遅れになった場合



やりがちなパターンとは？

これ以降は、講演にてご説明いたします。

④ 質疑応答